

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

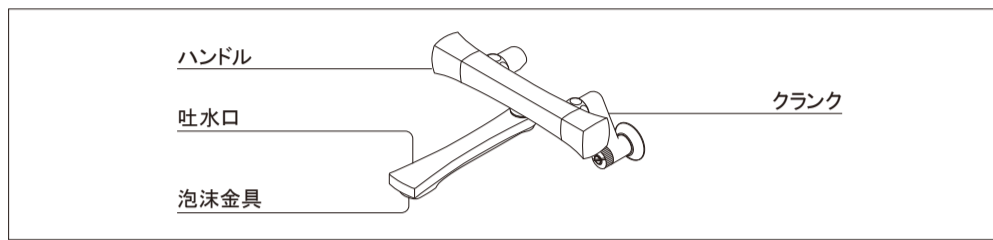
このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

- 水栓本体 ●吐水口 ●クランク・ワン・パッキン(各2個) ●取扱施工説明書 ●安全上のご注意

各部のなまえ

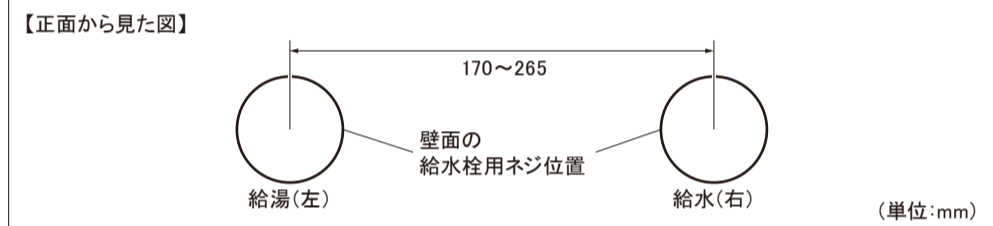


*品番によって図と製品の形状が一部異なります。

施工の前に

取付条件

取付けの前に、壁面の給水栓用ネジが以下の間隔になっていることをご確認ください。



本品は、正面に向かって左が給湯、右が給水となっています。
逆配管の場合は、取付けの前に「逆配管アダプター(104-120:別売)」をお求めいただき、付属の取扱施工説明書に沿って取付けてください。
*凍結対策の水抜きには対応しておりませんので、寒冷地仕様の水栓には使用できません。

必ず実行 本品は重いので壁の強度をご考慮ください。

準備するもの

- 施工時は、
●モンキーレンチ ●シールテープ ●プラスドライバー ●タオル
をご準備ください。

1. 古い水栓本体を取外します。

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

クランクと水栓本体を固定しているナットを時計回りにまわして、クランクから水栓本体を取外します。

注意 水栓本体は重いので、落下等に十分注意して作業を行ってください。

2. 壁からクランクを取外します。

安全のため、固定されているクランクにタオルをあて、両手で反時計回りにゆっくりまわして取外します。
*壁内のザルボがゆるまないように、ご注意ください。
ゆるんでしまった場合は、下記「●ザルボが外れた場合の対処方法」を参考に対処してください。

施工の前に(つづき)

2. 壁からクランクを取外します。(つづき)

●ザルボが外れた場合の対処方法

作業に必要な工具

- ウオーターポンププライヤー
- 六角レンチ

六角レンチがある場合	六角レンチがない場合
<p>①ザルボを「ウオーターポンププライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>	<p>①ザルボを「ウオーターポンププライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>
<p>②ザルボネジ部のゴミを取除き、施工方法 2.クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。を参考にザルボネジ部にシールテープを巻付けます。</p>	<p>②本品のクランクのネジ部にワンを取付け、施工方法 2.クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。を参考にシールテープを巻付けます。</p>
<p>③ザルボを壁にねじ込み、締付けます。</p>	<p>③ザルボをクランクのネジ部に取付けます。</p>

④クランクにザルボを取付けた状態で、**施工方法** にお進みください。

*この作業を行った場合、**施工方法** 文中の「クランクのネジ部」は「ザルボのネジ部」となります。ご注意ください。

注意

- ザルボの取付けは、確実に行ってください。壁の中ですので、漏水が発生した場合の確認が困難になります。
- ネジで手をケガする恐れがありますので、十分ご注意ください。

3. ザルボ内のネジ部の掃除をします。

注意 ネジ部にシールテープや接着剤が残っていると、漏水や水栓の故障の原因となります。必ずネジ部の掃除を丁寧に行ってください。

施工方法

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. クランクの位置を確認します。

正しい取付位置

壁面に対して直角にする

左右のクランクの端面は壁面に対して平行にする

ナットを中心位置の高さを揃える

誤った取付位置

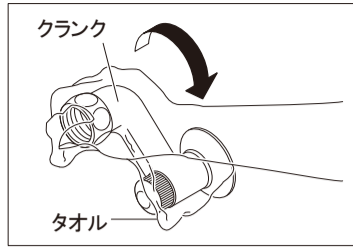
本品のクランクをそのまま壁に取付け、ナットの端面が図のように壁面に対して平行であり、ナットの高さがそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認し記録しておきます。

2. クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。

ワンを取付け、片手でクランクをしっかりと握り、もう片方の手でクランクのネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引張りながら時計回りに7~8回、ネジ部全体に均等になるように巻付けます。巻終わったら、シールテープを引きちぎります。

施工方法(つづき)

3. クランクを取付けます。



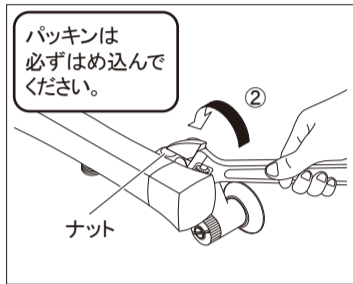
①クランクにタオルをあて、「1.クランクの位置を確認します。」であらかじめ確認した回転数より、1回少ない回転数まで時計回りにまわして締付けます。



②締付け終わったらワシをまわし、壁に密着させます。

注意 クランクを取付ける際、逆(反時計回り)方向にまわしてゆるめると漏水の原因となります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度 **施工方法** 2.クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。からやり直してください。

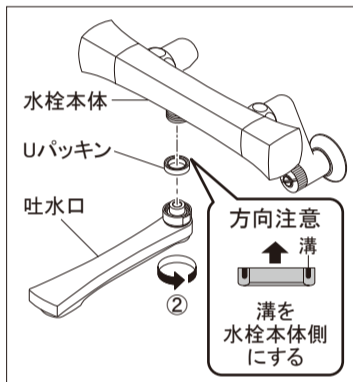
4. 水栓本体を取付けます。



①クランクのナットにクランクパッキンをはめ込み、水栓本体をクランクに取付けます。
②ナットを左右均等にしっかりと締付け、水栓本体をクランクに固定します。

注意 水栓本体は重いので、落下等に十分注意して作業を行ってください。

5. 吐水口を取付けます。



①Uパッキンを吐水口から外し、図を参考に溝を上にして水栓本体に差込みます。
②吐水口を水栓本体に差込み、ナットを締付けます。

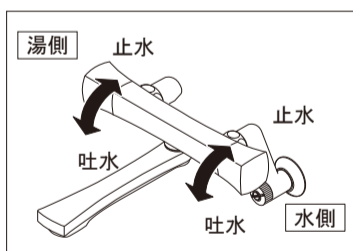
注意 Uパッキンの挿入方向を誤ったり、傷を付けたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。ご注意ください。

施工後の確認

①元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。
低温または高温しか出ない場合は、**こんな時には… 簡単な点検と対処** を参考に調整してください。

使用方法

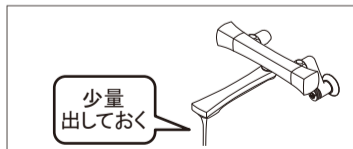
ハンドルの操作方法



各ハンドルを手前にまわすと「吐水」、奥にまわすと「止水」します。
必ず実行 湯をご使用時は、水側ハンドルから開いてください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開き、お好みの温度に調整してください。湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。

凍結防止方法

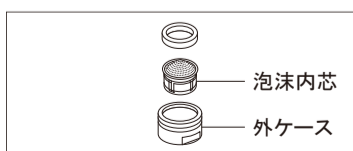
水栓周囲の温度が0℃以下になり凍結の恐れがある場合は、下記の方法で凍結を予防できる場合があります。



●配管を保温する。
●水栓から水を少量出しておく。(目安:1分間に200ml程度)
●外気が入らないよう窓等を閉める。
*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

お手入れ方法

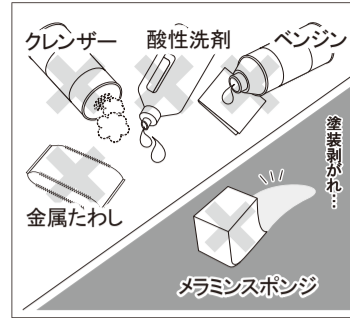
泡沫内芯のお掃除



ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

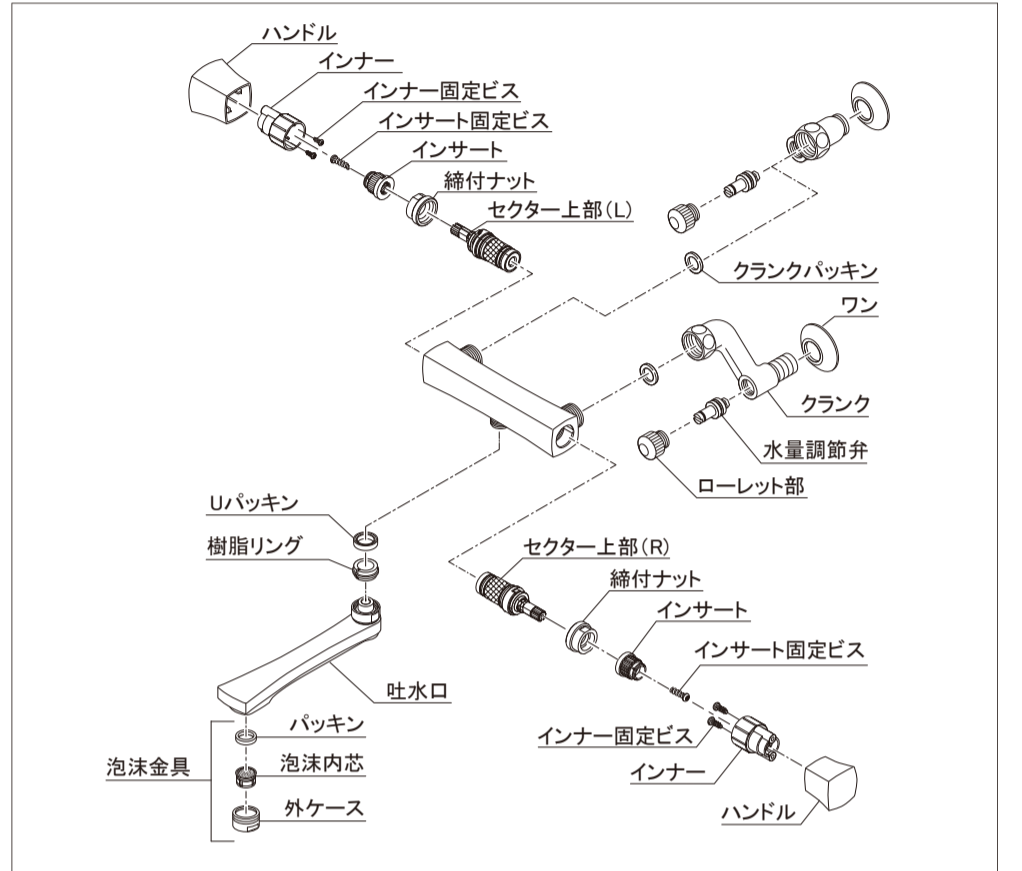
お手入れ方法(つづき)

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために。



●水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
●水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。
注意 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

分解図



* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

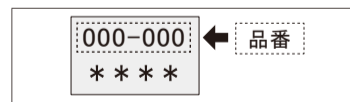
こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に動かない時は、修理を依頼される前に、**分解図** を参考に下記の要領で点検してください。

現象	原因	対処	
温度調整不良	高温しか出ない	水側の元栓が閉じている	水側の元栓を調節する
		セクター上部の異常	セクター上部を交換する
		水側の水量調節弁が閉じている	水側の水量調節弁を調節する
	低温しか出ない	給湯圧より給湯圧の方が高い	湯側の水量調節弁を調節する
		湯側の元栓が閉じている	湯側の元栓を調節する
		セクター上部の異常	セクター上部を交換する
吐水不良	吐水量が少ない	湯・水側の水量調節弁が閉じている	適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		泡沫内芯の目詰まり	泡沫内芯を掃除する
	全く吐水しない	元栓が閉じている	適正水量になるまで元栓を開く
止水不良	止水できない	湯・水側の水量調節弁が閉じている	適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		セクター上部の異常	セクター上部を交換する
	ハンドル根元から漏水	セクター上部の異常	セクター上部を交換する
吐水口根本から漏水	Uパッキンの異常	Uパッキンを交換する	

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

修理を依頼される前に



お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0622GF

M-A4206

無断転載・複写を禁ず